



新座敷 登録番号 第40-0033号

建築年代：大正初期

主屋南面の東に廊下で結ばれている接客用の座敷。木造平屋建、入母屋造、棧瓦葺で、下屋を廻す。内部は1間半の大床を備えた12畳半の1室で、周囲に縁側を設け、開放的な扱いとする。良材を用いた丁寧な作りになり、壁や欄間などの造作も手が込んでいる。